

# 民生

## 介護職員処遇改善 交付金の活用を

深見 迪議員

**問** 「北海道介護職員処遇改善交付金」というのが出て、九月三十日から施行ということになった。これは、介護職員の処遇について平均して一万五千円の処遇改善だと聞いているが、どのように考えているか。

**答** 現在の正職員の関係については一般行政職の給料表と同等の同じ給料表で手当も含めて支給というようになっていて、改善については今のところ考えていない。

**問** 条例を改正したり、一般職との不均衡、ねじれも出てくるが、介護の職場を守るという観点から改善の努力をすべきではないか。とりわけ臨時職員は同じような仕事をしているわけだから、処遇改善をするべきではないか。

**答** 介護職員の処遇改善は、基本的には介護報酬で解決すべき問題だと考える。

まったく検討しない、要求しないというのではなく、基本的、構造的な改善を求めざるを得ないということである。

**問** 冬期雇用対策事業の実施について

平川 昌昭議員

## 冬期雇用対策事業の実施について

**問** 町単独事業として昨年度実施された枝切り作業については評価があ

り作業については評価があ

# 労働



冬期雇用対策事業説明会H22.1.7（開発センター）

ったが、今年度についての実施規模、内容について具体的なスケジュールについて伺う。

**答** 予算規模的には昨年度である。事業内容については町有林枝払いを考えているが一月には周知の上、着手していきたい。



# 農林水産

## 塘路湖のワカサギ環境 整備補助金の内容は

後藤 勲議員

**問** 塘路湖ワカサギの環境整備補助金二百万円の出金について伺う。

**答** 塘路漁協の方だけでなく現状の自然を維持する形で持続する処置である。湖内の廃棄物の回収もあるが、土砂の一部流入をとめる機材とか人件費を換算している。また、ワカサギのふ化に使うようなものにも整備を行う。

# 上下水道

## 水道料金について

林 博議員

**問** 各地域のコミュニティハウスの水道は、ほとんど使われていない状況だ。基本料金にこだわらず安価にすべきだ。

**答** 水道事業全体は、基本料と超過料金を合わせた水道使用料で運営しているが、固定ではなく見直しもしている。



塘路終末処理場の  
外構工事について

越善 徹議員

**問** 塘路終末処理場の国道側の用地境の土どめの土砂が流出しているがその対策を聞く。

**答** ことは今までになり、今後の気象状況を見きわめて対策を検討する。

塘路地区の下水道水増加の原因は

越善 徹議員

**問** 塘路地区の下水道にはことしの九月に五百立方メートル多く流入している。何が原因か。

**答** 塘路の膜分離活性汚泥法では塘路の汚泥は脱水機を使って



いないため、標茶の終末処理場にタンクローリーで運んでいる。含水率を下げるため、分離膜の汚泥を洗浄する水が加わっている。

上水道不明水の損失について

越善 徹議員

**問** 二十年度で五万九千七百トンの不明水がある。これを家庭用の料金で計算すると約七七〇万円程度になる。非常に大きな

金額だがこれをどう考えているか。

**答** 現在本町の上水道水は虹別から多和へ水源変更ということで約四億円かけてやっているが、浄水をしなくて供給している。水源変更することによって不明水が明確になってくる。水道料金にはね返らないことを前提に、経過を注目していきたい。

土 木

『事業仕分け』による農道事業等の見直しは

平川 昌昭議員

**問** 補正でふるさと農道事業が精査されたが現時点での農道事業の見直しについて聞く。

**答** 次年度以降予定している事業の中で一路線の影響が出てくる可能性がある。

道路改良の手法について

平川 昌昭議員

**問** 二十年度では未改良が四六％で、砂利道が三八〇キロメートルとなっているが今後の改良率、舗装率アップの計画について聞く。

**答** 現状では簡易舗装等を含めて七〇％以上の舗装率だが、砂利道の舗装整備の必要性については今後議論していく。



教 育

標茶小学校のクラス編成について

林 博議員

**問** 小学校の一学級の児童数だが、現状では

四一名以上は二クラス、四〇名以下で一クラスとなっている。標茶小学校では三九名のクラスがあるが、きめ細かな教育を考えたとき、少ない児童数のクラス編成がよいと考える。今後の考え方を伺う。

**答** 法律では四〇名という基準で、本町もこれに基き学級編成を行っている。ただ、低学年では、三五名で編成している。町村独自で四〇名以下の編成するのであれば可能だが、現状では厳しい。



小学校職員室

# 平成20年度 決算を認定

平成20年度の決算審査報告が、決算審査特別委員会委員長から提出され、12月8日の第4回定例会で採決し議会はこれを認定しました。

項目	平成20年度	
一般会計	歳入決算	97億 805万円
	歳出決算	96億1,462万円
特別会計	歳入決算	36億9,878万円
	歳出決算	36億5,619万円
公営企業会計	歳入決算	12億9,458万円
	歳出決算	14億5,257万円

## 総括質疑

平成二十年度決算審査特別委員会

### 通学路の安全確保を

深見 迪議員

**問** 学校では、通学路の安全確保についてさまざまな取り組みをしているが、事件、事故はまさしく地域で起きるので地域との連携なしには子どもは守れない。

日常的な地域との連携について、学校で作成した通学路安全マップを地域にも配布するなど、より積極的に具体的な取り組みをしようか。

**答** 現在標茶町では、ワンワンパトロールや地域見守りなど町内会等含めて安全対策の協力がある。毎年町の広報を通じて協

力の依頼もしている。さらに町民一人一人の協力を得るよう教育委員会としても努力をしていきたい。

### 自立ヘルパーの継続を

深見 迪議員

**問** 町では独自に自立ヘルパーを派遣し、介護保険非該当者への支援を行っているが、高齢者を取り巻く状況から考えると、この自立ヘルパーの取り組みは非常に大切である。これは、今後も続けていくのか。

**答** 町の自立支援ヘルパーについては、介護保険制度等々で救えない部分の支援を第一義的に行っ

ている。また、本年四月からは、七十五歳以上の単身、それから高齢者世帯の訪問もしている。その中で介護認定に結びついたという例もあった。町としては当面この体制をとっていきたいと考えている。

### 町民の協力も得十対一の看護師体制維持を

深見 迪議員

**問** 十対一の看護師体制は、安定した病院経営のためにも維持していかなければならないと考えるが、この体制維持のためにも町内会や各地域振興会、その他の町内組織にも呼びかけ、まちぐるみで町立病院を守っていくという取り組みが必要と考えるがどうか。

**答** 入院患者十人に一人の看護師体制の維持は、収益の確保、患者サービスの向上の上からも今後

も維持をしていかなければならないと考えている。欠員が生じた場合は、町内会への協力依頼やチラシ等含めていろいろな方策を立てながら、看護師の確保に努めていきたい。

### 小児科の診察日増を

深見 迪議員

**問** 新型インフルエンザの症状がおさまるまでも小児科の診察日をふやすことはできないか。

**答** 現在、旭川医大から一から三週は月曜日、第四週は、月、火曜日の診療を行っている。診療日の拡大は、旭川医大の小児科医局でも小児科医師不足で現状では非常に困難な状況である。



深見 迪議員

**土地開発基金を  
廃止し有効活用を**

**問** 一億円でスタートした土地開発基金は、平成二十年度では現金一億六千万円を含めて三億一千五百万円になっている。

土地開発基金自体も廃止する自治体が出てきているが、財政が厳しい現状の中で一般会計に繰り入れて住民サービスの効果的な運用をしてもよいのではないか。

**答** 現在、標茶町の土地開発基金については、一般会計に大きく財政状況にマイナスの影響を与えるという状況にはない。逆に土地開発基金があることによつて長期的な施策の運営と財政上の運営ができてると考えている。

館田賢治議員

**リハビリテーション  
シオンの収益増を**

**問** 今年度リハビリテーションシオンの収益は九百万円台で昨年度一千百万円台より少ない。なぜ収益を上げられないのか。

訪問リハビリテーションは訪問に係る時間等がかかるのでロスもあるが、毎月月末の管理会議等で、診療報酬のいわゆる収益の確保ということは議論している。今後通所リハビリテーションを新たな事業として二十二年度からの実施を検討しているので、収益増が図られると考える。

**答** 訪問リハビリテーションは訪問に係る時間等がかかるのでロスもあるが、毎月月末の管理会議等で、診療報酬のいわゆる収益の確保という事は議論している。今後通所リハビリテーションを新たな事業として二十二年度からの実施を検討しているので、収益増が図られると考える。

訪問リハビリテーションは訪問に係る時間等がかかるのでロスもあるが、毎月月末の管理会議等で、診療報酬のいわゆる収益の確保という事は議論している。今後通所リハビリテーションを新たな事業として二十二年度からの実施を検討しているので、収益増が図られると考える。

館田賢治議員

**税の滞納、収入  
未済額、欠損金  
について**

**問** 軽自動車税の滞納分の回収見込みはあるか。どのような取り組みを  
考えているか。

軽自動車税の滞納分の回収見込みはあるか。どのような取り組みを  
考えているか。

**答** 未納の主な原因は、廃車手続きの未了、所有権移転の漏れなどである。税額が少額なこともあるが、本人と面談するなどして賦課の適正に努めている。

未納の主な原因は、廃車手続きの未了、所有権移転の漏れなどである。税額が少額なこともあるが、本人と面談するなどして賦課の適正に努めている。

**問** 農業分担金の現年の未済が約二千万円、滞納分が約一億二千万円あるが、この収納についてどのような努力をしているのか。

農業を継続している場合は組勘からの引き落としでほぼ納入されている。営農中断などの場合は、督促状、催告書等の発付等や直接会うなどの取り組みをして収納の努力をしている。

**答** 農業を継続している場合は組勘からの引き落としでほぼ納入されている。営農中断などの場合は、督促状、催告書等の発付等や直接会うなどの取り組みをして収納の努力をしている。

営農中断などの場合は、督促状、催告書等の発付等や直接会うなどの取り組みをして収納の努力をしている。

営農中断などの場合は、督促状、催告書等の発付等や直接会うなどの取り組みをして収納の努力をしている。

**問** 児童福祉負担金の未済が一千七百万円近くあるがどのようにとらえているか。

児童福祉負担金の未済が一千七百万円近くあるがどのようにとらえているか。

**答** 金額が大きくならなように保護者への納入督促をしている。また、過年度分については分割して納入する方法などもとっている。

金額が大きくならなように保護者への納入督促をしている。また、過年度分については分割して納入する方法などもとっている。

**問** 住宅使用料の現年度未済額が二百万円、滞納で二千四百万円あるがどのように考え取り組んでいるか。

また、生活が非常に大変な人に対する支援は行っているのか。

**答** 担当者も含めて現課で一丸となって滞納処理にあたり、住宅使用料については九九%に近い徴収率を上げてきている。

生活困窮者の支援については、住宅使用料の減免の規定、要綱があり、減額率も五分の四から五分の一ぐらいまであり、個々の対応をしている。

生活困窮者の支援については、住宅使用料の減免の規定、要綱があり、減額率も五分の四から五分の一ぐらいまであり、個々の対応をしている。

生活困窮者の支援については、住宅使用料の減免の規定、要綱があり、減額率も五分の四から五分の一ぐらいまであり、個々の対応をしている。

館田賢治議員

**オートキャンプ場の  
収益について**

**問** オートキャンプ場の利用人数が一千人くらい増えているが、収入が上がっていないのはなぜか。

オートキャンプ場利用というより釣り客等で約半数増えている。また、フリーテントの利用は、一サイトで一名でも六名でも料金と同じであることから利用者数増が利用料増に単純にはならない。

**答** オートキャンプ場利用というより釣り客等で約半数増えている。また、フリーテントの利用は、一サイトで一名でも六名でも料金と同じであることから利用者数増が利用料増に単純にはならない。

オートキャンプ場利用というより釣り客等で約半数増えている。また、フリーテントの利用は、一サイトで一名でも六名でも料金と同じであることから利用者数増が利用料増に単純にはならない。

館田賢治議員

**お助け資金に  
ついて**

**問** お助け資金についてだが、いい制度だと評価しているが、国の新しい制度が出た場合、国の制度と合わせてさらに据え置きを伸ばす考えはないか。

お助け資金についてだが、いい制度だと評価しているが、国の新しい制度が出た場合、国の制度と合わせてさらに据え置きを伸ばす考えはないか。

# 意見書

**答** 国の制度の詳細についてはまだ入手していないが、国の制度よりはいま一步踏み出さなければ町内の中小企業の方々に利用しにくい状態があると考えている。今後も皆さんが使いやすいような制度にしていくことを検討していきたい。

館田賢治議員

## 来年度予算方針は

**問** 今後この決算を踏まえて、来年度にどのような考え方で予算編成に臨まれるのか。

**答** 来年度は、総合計画の中の耐震関係で各学校の整備、小学校の改築もある。

来年が行政執行の百二十五年という節目の年にも当たり、また、政権交代に伴う施策の変更などの問題も考慮しながら、新年度の予算を考えていく。

次の5件の意見書を国と北海道の各関係機関に送付しました。

### ◆意見書第六号

治安維持法犠牲者に国家賠償法の制定を求める意見書

戦前、天皇制政治の下で主権在民を唱え、侵略戦争に反対したために、多くの国民が虐殺、拷問、虐待など犠牲をこうむりましたがその国民に対し国が謝罪し、賠償を行うことを求めたものです。

### ◆意見書第七号

道路整備に関する意見書

地方が必要とする道路財源の確保、早期事業化を図ること、安全で安心な交通の確保することなどを要請したものです。

### ◆意見書第八号

社会的セーフティネットの拡充に関する意見書

「雇用と住居を失った者に対する総合支援策」の恒久的な制度化を行うことと、国の責任において生活保護制度の運用改善、実施体制の確保及び財源保障を行うことを要請したものです。

### ◆意見書第九号

新・北海道石炭じん肺第三陣訴訟について「消滅時効」の援用に対する意見書

じん肺は職業病であり、これを根絶し被害者に適正な賠償を行うことは国の義務である。国が新・北海道石炭じん肺訴訟について「消滅時効」を援用することに反対し、被害者が適正な裁判を受ける権利を求めたものです。

たものです。

### ◆意見書第十号

道立衛生学院の存続を求める意見書

准看護師が正看護師の資格をとったり、保健師や助産師養成など、看護職員養成に欠くことができない重要な施設である道立衛生学院の存続を北海道知事に要望したものです。

## 議員研修

平成二十一年十月三十日

釧路支庁管内町村議会議員研修会が行われ、標茶町議会議員も参加しました。

『議員年金財政の現状と今後の対応について』

北海道町村議会議長会事務局 主事

秋田典子氏

講演

『北海道酪農の原動力と将来』

ホクレン  
農業協同組合連合会  
酪農畜産事業本部長  
坂東寛之氏

